

に円形や舟底状の大小の穴が12基も見つかり、縄文人が岩脈を集中的に採掘していた様子がうかがえます。

### 4 ストーンロードの研究へ

私たちが星ヶ塔遺跡の調査を進めているころ、関東地方の縄文石器の研究者たちは関東の遺跡から出土している黒曜石の科学的な産地分析を進めていました。その研究では、縄文時代前期の後半までは和田峠の長和町側の黒曜石が主に使われていたが、前期の終わりころに星ヶ塔で黒曜石の採掘が始まると、関東地方に流通する黒曜石も、星ヶ塔産のものばかりになることがわかってきました。こうした、黒曜石の消費地における研究と星ヶ塔遺跡の黒曜石採掘とを総合的に考えると、関東・中部地方など各地へ黒曜石をたくさん供給するために、星ヶ塔で黒曜石が採掘されていた、という需要と供給の様子がわかり、各地へ黒曜石を運んだ「ストーンロード」も見えてきます。そしてついには、青森県三内丸山遺跡にまで星ヶ塔の黒曜石は運ばれていくのです。

また、晩期の黒曜石流通についても近年研究が進められています。新潟県津南町の正面ヶ原A遺跡では産地分析で星ヶ塔産とわかった黒曜石がたくさんあり、実際に見せてもらったところ、星ヶ塔の透明系黒曜石とブルーブラックと呼ぶ青黒い黒曜石の両方があり、肉眼的にも星ヶ塔で採掘されたものであることが確認できました。北関東方面では晩期遺跡出土の黒曜石の産地分析がすすめられ、群馬県南部から栃木県にかけて星ヶ塔産の黒曜石がたくさん流通していることが確認されています。

また、山梨県北杜市の国史跡金生遺跡では、竪穴住居などの遺構から77kgにおよぶ黒曜石が出ており、産地分析では大部分が星ヶ塔産であることが確認されています。ここの黒曜石も実際に見せてもらったところ、星ヶ塔遺跡の採掘坑から出る黒曜石と全く同じ質感のものが大量にあり、金生遺跡の集団が星ヶ塔の採掘にかかわったのではないかと推測しています。このように、晩期でも需要と供給が一致する様子が各地の遺跡を通じてとらえることができ、ストーンロード上にある金生遺跡では、採掘者集団も浮かび上がってきました。

星ヶ塔遺跡の研究は、明治以来の長い歴史を背負っています。この研究の灯を絶やすことなく、これからもストーンロードを追いかける研究を続け、謎に包まれた縄文人の社会に迫り、埋蔵文化財センターの展示を充実していきたいと考えています。



縄文晩期の黒曜石採掘坑を発掘する筆者



下諏訪町埋蔵文化財センターに原寸大で復元された縄文時代晩期の採掘坑  
(撮影：フォワードストローク)



埋蔵文化財センターの床面に展示したストーンロード (撮影：フォワードストローク)

# 生涯学習

No.522

かおり高い  
文化のまち

発行 下諏訪町教育委員会  
編集 生涯学習  
編集委員会

〒393-8501  
長野県諏訪郡下諏訪町4611-40  
(下諏訪総合文化センター内)  
☎0266-27-1111(内線718)  
FAX 0266-28-0131  
E-mail=syougai@town.  
shimosuwa.lg.jp

# ストーンロードを追いかけよう

新装なった下諏訪町埋蔵文化財センター。宮坂清博物館館長に、全国有数の規模を誇る下諏訪町の黒曜石について、研究の歴史と現在を熱く語っていただきました。

## 1 長い歴史のある黒曜石研究

今から130年も前の明治19年、当時発足したばかりの日本考古学の指導者であった東京大学の坪井正五郎氏は、東京近郊の貝塚から出る黒曜石に注目し、東京付近に黒曜石の原産地はないのでどこからか運ばれてきたものであり、原産地を突き止めることができれば人々の往来や交易の在り方を突き止めることができると論じました。

大正期に入ると、坪井氏の後継者となった東京大学の鳥居龍蔵氏が諏訪地方の遺跡調査に訪れ、星ヶ塔を調査し、地表面が黒曜石で埋め尽くされていることを目の当たりにするとともに、<sup>とりいりゅうぞう</sup> 縦穴の跡と土器片2点を発見し、星ヶ塔こそ、先史時代の黒曜石の獲得場所であると考えました。そして、関東・中部地方一帯の遺跡から出る黒曜石は、星ヶ塔から供給されたものであると論じました。

明治・大正期における坪井正五郎氏、鳥居龍蔵氏の調査研究が現在の日本考古学の黒曜石研究の出発点であり、私たちが行っている星ヶ塔遺跡の調査研究の源流になります。



鳥居龍蔵氏が示した星ヶ塔産黒曜石の分布範囲（鳥居1924）

## 2 縄文時代の黒曜石採掘跡の発見

昭和30年代、星ヶ塔遺跡の場所で、建築資材などに利用するための黒曜石採掘事業が行われました。この採掘に伴って縄文土器が出土したことから、諏訪の考古学者藤森栄一氏らが調査に乗り出します。そして、採掘現場の地層断面で黒曜石の鉱脈を掘り込んでいた縦穴の跡を発見し、縄文時代の黒曜石採掘坑を発見した、と学界に報告しました。これが、日本列島における最初の黒曜石採掘坑の発見でした。



藤森栄一氏らの星ヶ塔遺跡調査現場（下諏訪町誌上巻より）

そして、平成9年から下諏訪町教育委員会の調査が開始されます。平成25年まで17年間かけて行った調査では、星ヶ塔山の東斜面の約35,000㎡の範囲に、いまだ埋まりきらずにくぼみとして残る縄文時代の黒曜石採掘跡が193カ所分布していることがわかりました。さらに、発掘調査によって縄文時代前期（約5,700年前）と晩期の採掘坑が見つかり、黒曜石の採掘が長期にわたって行われていたことが確認されました。

## 3 星ヶ塔遺跡の発掘でわかったこと

今回の調査で確認された二つの時期の採掘坑は、それぞれまったく異なる方法で採掘が行われていました。縄文時代前期の採掘坑は、大人が一人入れるほどの縦穴で、火砕流堆積物に含まれる塊状の黒曜石を、鹿角のピックを使って掘り出していたと推定されます。

一方、晩期の採掘坑では、地下1.5m以下に存在する黒曜石の岩脈そのものを<sup>たたき</sup> 敲石で打ち欠いて原石を採掘していたと考えられます。調査で確認できた岩脈の面積はわずか5㎡ですが、この範囲内

## なぎがまコミュニティスクール 広報部に携わって

なぎがまCS 広報部 武居 晶子

なぎがまコミュニティスクール (なぎがまCS) は、学校教育を積極的にボランティア支援し、また、地域とも協働することで、地域が守ってきた伝統文化を若い世代に確実につなげていく活動を進めています。活動は今年で、3年目となりました。

私たちなぎがまCSの広報部は、現在、主任児童委員・町内商業会の青年部代表・現役および元南小PTA副会長というメンバーで構成されています。

コミュニティスクールの活動を、より多くの町民の皆様を知っていただくために、学校や地域のイベント開催の際は、手分けして現場に出向き、積極的に取材をし、広報誌【なぎがまCSだより】を作成して、年3回(7月・1月・3月)発行しています。

この3年間の活動の中で、【なぎがまCSだより】第7号まで発行することができました。広報を作成するにあたっては、極力文字数を減らし、イラストでわかりやすく表現したり、写真を多く取り入れたりして、誰もが見やすい広報になるように、皆で工夫しながら進めています。



地区の防災訓練

【なぎがまCSだより】は、毎号、小中学生へは学校から各ご家庭へ配布され、町内の皆様へは回覧板で、全戸回覧させていただいています。お手元に届きましたら、是非、ゆっくりとご覧いただければ幸いです。

これからも私たち広報部は、子どもたちが、地域の皆様と一緒に生き生きと学ぶ姿を、町内の皆様へ発信していきたいと思っています。

今後ともどうぞ温かいご支援・ご協力をよろしく願いいたします。



下諏訪ジュニア防災リーダー研修



子どもたちが中心になって進める打合せ  
ジュニアリーダー研修

連絡先 : 下諏訪中学校 ☎27-3000 下諏訪南小学校 ☎27-5000

# 「ノース下諏訪ネットワーク」学習支援を通して

学校支援部長 朝貝 加代子

ノース下諏訪ネットワークの活動が始まってから今年で10年目を迎えました（下諏訪社中・下諏訪北小職員玄関横に看板を設置）。発足当初から子どもたちの学習を支援してきました。国や行政の方針で、「地域で学校を支援する」から、「学校運営に参画していく」立場へ変遷してきましたが「子どもたちに、社会に出てから生き抜いていく力を身につけてほしい」という願いは変わりません。

この10年間、クラブ活動、防災学習、統計グラフなど様々な活動で講師を紹介してきました。その中から特徴的な活動を紹介します。



### <よのなか科>



学校の授業科目にない世の中のこと、今、社会で起こっていることについて、大人と子どもがともに考え、学び合っていくものです。先日、消費生活アドバイザーの唐澤洋之さん（下諏訪町出身）が中学3年生に向けて「マネー講座」を行っていただきました。地域住民の方にも参加していただき、生徒たちと考え合いました。以前は、青木悟町長にもゲストティーチャーとして「町の税制について」の講義をしていただきました。大人と子どもが同じ課題について考え意見を出

し合う授業は、生徒だけでなく地域力を高めるためにも重要だと思います。どなたでも参加可能です。次回はぜひご参加ください。

### <寺子屋やしろ>

今年で7年目になります。当初は中学3年生が対象でしたが、中学生全体、そして一昨年からは北小学校の子どもたちにも支援を行い、小・中学生が同じ場で学習しています。週に1回放課後、子どもたちが学校の授業の中で理解できなかったところを持ち寄り、地域のボランティアが勉強をみています。担任の先生とボランティアが同じ方向を向いてその子をみていくことで、学習効果が上がることを実感しています。

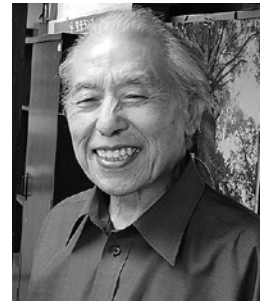


地域の方々と関わることで子どもたちは確実に社会性を身につけています。私たちボランティアも子どもたちからパワーをもらえ、相乗効果は大。地域全体の教育力が高まっていると感じます。

連絡先 : 下諏訪社中学校 ☎28-7600 下諏訪北小学校 ☎27-2288

# 下諏訪に歴史を訪ねて ～歴史民俗資料館～

下諏訪町、立町の伝統的な建物群の一角を占める歴史民俗資料館。秋の一日、遠来の若者でにぎわう資料館を訪ねてみました。



説明役の一人北原さん

## ようこそ、歴史民俗資料館へ

資料館の説明役は、町内の5人の方が交代でされているとのこと。丁度今日が着任の日という北原さんにお話をうかがいました。

この資料館は、立町の大火の後、明治十年頃に商家の住宅として建てられました。大きな建物で、江戸時代の出梁格子造りが特長です。資料館には、江戸時代を中心に、当時の人々の日常生活や下諏訪で起こった歴史上の様々な出来事が、コンパクトに展示されています。



幕末に起こった赤報隊の事件を伝える



当時の様々な生活用具

ここに挙げた以外にも、当時の中山道を通っていった皇女和宮の壮大な行列の絵図や、下諏訪宿を描いた数多くの浮世絵など、興味津々な展示物がいっぱい。是非一度、資料館をお訪ねください。



幕末の重大事件、和田峯合戦の資料も展示されている



奥に倉も見える庭園の一角

〈下諏訪町歴史民俗資料館〉  
開館は昭和62年。入場無料。  
場所はここだよ

儀象堂  
セブンイレブン  
食祭館  
下諏訪大社  
秋宮

## 「こども未来基金」活用事業の募集について

こどもらんど、こどもの居場所づくり活動を通して、地域で子育ての輪を広げてみませんか。

### ◇こどもらんど事業とは

家庭で十分な食事がとれなかったり、一人で食事をしているこどもに、無料もしくは安価な食事または地域の人々との触れ合いの時間を提供する支援活動です。

### ◇こどもの居場所づくり事業とは

地域の人々との触れ合いの時間を通して、こどもの生活面から学習面までの多面的な家庭機能を補完する支援活動です。

※それぞれの事業には、町からの補助金が支給されます。詳しくは、下諏訪町ホームページの「下諏訪町こども未来基金貸与・給付募集のご案内～申請の手引き～」をご覧ください。

問い合わせ先・申込み先：下諏訪町教育こども課教育総務係

〒393-8501 下諏訪町4611番地40（下諏訪総合文化センター内）

TEL：0266-28-0001 FAX：0266-28-0131

E-mail：kyusou@towm.shimosuwa.lg.jp

## 町民大学 下諏訪を学ぶ ⑤ メンデル講演会

日 時：12月2日（土） 午後1時30分～午後3時30分

会 場：文化センター2階 集会室 ※当日受付可（受講料100円）

### ①演 題：「脳の老化を防ぐ」

講 師：石浦 章一 博士 【略歴】東京大学名誉教授、現在同志社大学生命医学部特別客員教授  
老化に伴う脳の高次機能の低下は気がつかないところで起こっております。今回は、その例を提示し、老化を防ぐ方法についてお話し致します。

### ②演 題：「細胞を視る、測る！」

講 師：馳澤 盛一郎 博士 【略歴】東京大学大学院創成科学研究科教授  
最近では植物細胞から癌細胞まで、細胞内のダイナミックな変化を高速撮影により計測できるようになりました。今回は、いくつかの例をお目にかけます。

お問い合わせ 下諏訪町公民館 ☎28-0002

## 十一 ESCR

冬が近づく、三年前次男のマンションで起きた大火災を思い出す。「九死に一生」の事件。夜中の二時頃、彼は寝ていた背中が熱く、花火の時の匂いに燃されて目覚める。まずマスクをかけた。マンション四階からの避難ハッチはベランダにあるが、見れば真下から炎と黒煙が吹き出て、消防自動車が数台。「助けて〜」の声も聞こえる。建物中央の通路に向かうが、熱くてドアノブは触れない。（火事で怖いのはこの黒煙、このままでは死ぬ！）大急ぎで登山用の底の厚い靴を履き、四枚の服を着込み、飛び降りる決断をする。下はコンクリート・・・。私たちが駆け付けた夕方には手術も終わり、集中治療室でたくさんチューブに繋がれた姿を見て絶句。背骨二個はつぶれたが、神経は奇跡的に無事だった。（両隣の若者は一酸化炭素中毒で、お亡くなりになった。）

医学の進歩、リハビリスタッフの支援、本人の努力もあり、三ヶ月と少しで退院。そして大学院も卒業、就職、結婚。子どももできて命が繋がった。後遺症はほぼ、無い。

事件後訪ねた江東区の消防署には、『東京大空襲』で殉職した職員の記念碑。私の祖父もその命を助けてくれたのかも。（息子は脱出の際、ポケットにWifiだけを入れていた・・・のが何とも）

（黒澤 玲子）